



災害時に頼れる存在「災害ボランティアセンター」とは？

特集！

新庄市総合防災訓練に

参加してきました！



令和7年10月19日（日）、新庄市立本合海小学校を会場として開催された「新庄市総合防災訓練」に参加し、新庄市社会福祉協議会にて『災害ボランティアセンターの設置・運営訓練』を実施しました。

災害が発生したとき、被災地では多くの人々が支援を必要としています。そんな時、地域の力を結集して支援活動を行う拠点が「災害ボランティアセンター」です。

災害ボランティアセンターは、被災者の生活支援を目的に、ボランティアの受付、オリエンテーション、調整、派遣などを行う場所です。例えば、泥かきや家屋の片づけなど、さまざまな活動を通じて地域の復旧をサポートします。

訓練当日は、本合海小学校の児童・保護者の皆さんが災害ボランティア役として参加し、災害ボランティアセンターの役割について学んでいただきました。

今回の訓練を機に、新庄市で災害が発生した際には、迅速に『災害ボランティアセンター』を設置し、援助を必要とする被災者のもとへの的確に災害ボランティアを送り出せるよう、職員一人ひとりが防災意識の向上に努めてまいります。



ボランティア受付の場面



私たち一人ひとりの力が、地域の支えになります。「自分にできることはあるかな?」と思ったら、ぜひ災害ボランティアセンターの活動に目を向けてみてください。



「災害ボランティアセンター」受け入れから活動まで

①当日ボランティアの受付

当日の受付、ボランティア保険加入手続き、名札作成などを行います。

受付は、ボランティアのスマートフォンからQRコードを読み込み、名前などの必要事項を入力して送信することで受付を完了させます。(スマートフォンをお持ちでない方は、申込書に記入します。)

災害ボランティア活動に参加される皆さまへ ↗

チェックインはこちら ↓ ↗

受付は以下のQRコードからお願いします。 ↗



- 活動日の朝に全員の登録をお願いします ↗
- 事故対応、保険確認、活動人数把握のために毎朝全員に登録を行ってもらっています。 ↗
- スマホのない方は、スタッフまで ↗

③マッチング

マッチングとは、災害ボランティアと被災者を結びつけ、橋渡しする仕組みです。

センター担当者は、災害ボランティアが訪問する活動場所、活動内容などについて説明し、ボランティアは「活動指示書」と活動場所の地図を受け取ります。



②オリエンテーション



初めて参加するボランティアもいます。オリエンテーションでは、グループ人数の確認、活動上の注意やリーダーの役割などを説明します。



⑤現地での活動と活動報告



画像：令和6年 市内水害時

水害時、現地での活動では主に、浸水した家屋の泥の除去、家具の搬出、ゴミの分別・運搬などの活動をします。

ボランティアの活動時間は、15時まで。終了後は、災害ボランティアセンターに戻って、活動報告書を提出します。



画像：令和6年 市内水害時